



特集

瑩山禪師ものがたり 20



總持寺の山容が整う姿を眺めて

峨山禪師への引継ぎを決意されます

十か条に込めた思い

一三二四年、瑩山さまは五七歳になられました。この年の三月に、瑩山さまは、總持寺で修行している修行僧たちに向けて、守るべき十か条の規範を定められました。その十か条は次のような内容でした。

第一条、当寺は有力な支援者がいないので托鉢をして住職を務めなければならぬ。しかし、皇室の恩情によって勅願所となった。そのため、私の後継者たちは当寺を本山として、輪番制で住職を務め、皇位が永く続くよう祈ること。

第二条、当寺は天皇から許されて出世道場となった。門人たちは今後とも当寺の規則を守ること。

第三条、当寺は定賢律師の求めに応じて禪寺となった。ゆえに、定賢律師を開基として香花を捧げること。

第四条、法灯の後継者をみだりに許さないこと。

第五条、私の弟子たちは名誉や利欲を好まず、頭陀行を修め、持戒行に専念して、仏、法、僧を深く敬い、禪道に励むこと。

第六条、媚びたりへつらったりして人々を惑わしてはならない。言い争い

No.
75
2025 Summer

山松舎
寺南臨

もしてはならない。

第七条、役職の僧が任務をおろそかにしたときは、老僧なら出頭を停止させ、若い僧なら三日三晩、僧堂から出さず坐禅させること。

第八条、小僧、沙弥など若年の僧たちには、朝、昼、晩の勤行以外は学問に専念させよ。もし、なまける者が出たら厳しく罰を与えよ。

第九条、境内の諸堂の清掃を怠ってはならない。清掃には、おごりを取り除く、心を整える、人格を高めるなど五つの利益がある。よく承知しておくこと。

第十条、一門の者は、心を合わせて、仲良くし、当寺を修理すること。

この十か条の規範にはこののち五百年以上も守られた住職の輪番制をはじめ、瑩山さまの總持寺にかける深い思いがあふれています。

總持寺の住職を譲る

五月になると、観音堂をはじめ各お堂の修復も終わり、ようやく總持寺の山容を整えることができました。瑩山

さまが入山されてから三年の月日が過ぎていました。

五月十八日、永光寺の住職も務められていた瑩山さまは、永光寺から總持寺にお入りになりました。永光寺の首座の峨山禪師のほか二十名あまりの僧と信者たちを従えてのことです。

五月二十九日には總持寺の僧堂の完成を祝う儀式が執り行われました。

それから四十日あまり経った七月七日、瑩山さまは總持寺の初代住職を引退し、愛弟子の峨山禪師に第二代住職を譲られました。

瑩山さまが總持寺を開き、引退するまでの在任期間は、わずか三年あまりにすぎません。それに対して、峨山禪師は總持寺に在住すること四十二年間の長期にわたります。

瑩山さまは退任の挨拶を行われたあと、峨山禪師にまず、法衣を授けられました。さらに、杖、弘子、戒尺、そして竹篋を授けられました。この竹篋は、道元さまから懷焚禪師へ、懷焚禪師から義介禪師へ、義介禪師から瑩山さまへ手渡されてきたものです。それが今峨山禪師に手渡されたのです。

總持寺の将来を見通し、峨山禪師の手腕に期待する、瑩山さまの熱い思いを感じます。

盆の月 亡者の帰る

鉦の音

正岡子規

八月はお盆、

九月はお彼岸の季節



お盆の行持は八月十日から

臨南寺のお盆行持は、八月十日、
十二日のお墓経から始まります。

そして、十二日の午後六時から、
本堂前の広場では「弁財天万灯
会」があります。灯籠に願い事を
書いて、弁天様に献灯いたしまし
よう。ご先祖様や亡き人への供養
にもなります。

十六日には、孟蘭盆会施食会を
修行します。亡き人やご先祖様
など、各家にゆかりの精霊をご回
向させていただきますのでお参り
ください。

お彼岸行持は九月二十一日から

臨南寺では九月二十一日、二十
三日にお彼岸のお墓経を行います。

二十六日には、彼岸会施食会の
法要を行います。お彼岸はご先祖



8月16日、9月26日にはご家族そろってお参りください

様に感謝をささげるとともに、ご

自分の生き方を見直す大切な期
間です。彼岸会にお参りいただき、

ご先祖様に手を合わせ、今あるこ
とに感謝いたしましょう。

ご都合が悪い方は、いずれの行
持も不参加にてお受けしますので、
お問い合わせください。

臨南寺
百景



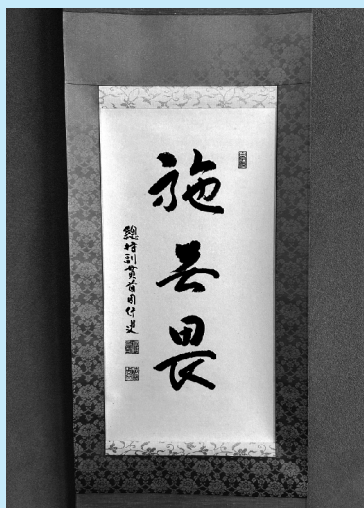
『施無畏』の掛軸

この掛軸は、大本山總持寺貫首
の石附周行禪師の筆になるものです。
「施無畏」という言葉は、佛さまや
菩薩さまが「人々の恐れ的心を取
り去って救う」ことです。また、
観世音菩薩さまそのものを表す言
葉でもあります。

「施無畏」は、観音経に出てく
る言葉で、観世音菩薩さまは「怖
畏急難の中に能く無畏を施す」と
あります。無畏とは、恐れ無しと

いうことで、観世音菩薩さまは、
不安も動揺も無い絶対の安心を与
えてくださると説いています。

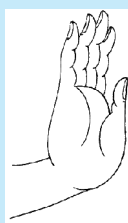
観音経の中には、観世音菩薩さ
まの様々な功德やご利益が説いて
あります。例えば、大きな火の穴
に落ちても観音さまの力を念ずれ
ば静かな池となり、巨海に漂流し
て龍魚諸鬼の難にあつても観音さま
の力を念ずれば船が波に沈められ
ることはないなどです。でも、実
際これらは譬喩であり、観世音菩
薩さまの力を信ずることによって、
我々の心の中の恐れを取り去り、
自分の煩惱が引き起こす禍を消
すことができるのです。だからこそ、
観世音菩薩さまのことを、施無畏
者と呼ぶのです。



この掛軸は休憩所でご覧いただけます



石附貫首



『施無畏印』

「はんにや心響」第七回

『鼻水をすするな』

曹洞宗は『禪宗』です、「坐禅が全て」と言っても過言ではありません。

とはいえ、毎日朝から晩まで坐禅をしたからといって、何かを得たりするわけではありません。ただ、ひたすら、坐るのです。

安居修行中、冬の寒い日にいたるところから鼻水をすする音が聴こえ、指導する立場の老僧が「鼻水をすするな！鼻水が垂れたら垂れつばなし！」と喝！坐禅堂内は静寂に戻りましたが、まさに鼻たれ小僧たちが鼻水をダラダラ垂らしながら坐禅を続けるという出来事がありました。

坐禅会に参加される方に「何も考えないで坐ります」と説明するときがありますが、「何も考えない」というのは難しいことです。実際私も「何も考えずに坐れたこと」が一度もないような気がします。

それでも坐禅を繰り返していると、「色々考えすぎている」ことに気付かれます。日常色々考えすぎて、その「考え」自体が「自分自身を苦しめている」ことに気が



山形県酒田市 正常院住職
成澤祐吾 老師

付かされます。

思考を巡らせるのが悪いわけではありません。思い悩み考えるのも人間らしいと言えるでしょう。ただ「思考」は道具です。上手く使えば便利な道具も、使い方を誤ると振り回されてしまします。

「鼻水をたらすと○○だ」という考えは一時的なことです。そんなことよりも「考え」に引つ張られて、『今、ここに坐っている』という『事実』をおろそかにしてしまう私。『今』をおろそかにしている人間がいくら思い悩んでも、正しい答えなど出るはずはありません。

静かに呼吸を調べて、その考えや行動が「正解だ」とか「不正解だ」とか…そんなことからすつかり離れてただ坐ってみてください。本当に大切なものはもつと別のところにあるのだと思えますから。

合掌

臨南寺行持予定（八月～九月）

お盆行持

○ お墓経

* 八月十日 午前九時半～午前十一時半
* 八月十二日 午後五時～午後七時半

お盆のお墓経を行います。どちらかご都合のよい日にお越しください。

塔婆の準備がございまして、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

○ 弁財天万灯会（本堂）

* 八月十二日 午後六時～午後七時半

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をお供えし、福を授かりましょう。お盆の迎え火としてもご献灯いただけます。どなたでもご参加いただけます。（献灯料千円）

○ 盂蘭盆会施食会（本堂）

* 八月十六日 午前九時～十二時半

お盆供養の法要を行います。各家のご先祖様とご縁の深い精霊のご供養をいたしましょう。どなたでもご参加いただけます。（回向料二万円）

○ お彼岸行持

○ お墓経

* 九月二十一日 午後二時～午後四時
* 九月二十三日 午前十時～十二時

お彼岸のお墓経を行います。どちらかご都合のよい日にお越しください。

塔婆の準備がございまして、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

○ 彼岸会施食会（本堂）

* 九月二十六日 午後一時～午後二時半

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間です。ご先祖様をしのび今あることに感謝いたしましょう。

どなたでもご参加いただけます。（回向料二万円）

坐禅会

毎月第一土曜日 午前八時～ 本堂にて

* 一月と八月はありません。中止する場合がありますので、前日にお電話でお問合せください

春のマトリ合同法要

読経が続く中でご焼香して

いただきました

五月晴れに恵まれた五月十一日(日)、午後二時からがっしょう園マトリの合同法要が営まれました。

マトリにご納骨された皆様の法要が執り行われ、読経が続く中でご焼香をしていただきました。

「マトリ」とはサンスクリット語で「お母さん」のこと。母のふところに抱かれて永遠の安らぎが得られますようにと祈る思いが込められています。



がっしょう園マトリの合同法要の様子

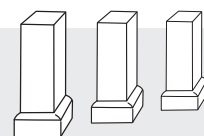
お墓じまいのご相談はお早めに寺務所までどうぞ

「お墓を継いでくれる人がいない」「最近、お墓参りが大変になってきた」——今、さまざまな理由でお墓じまいを考えている方が増えています。

ご先祖さまからの思い出がたくさん詰まった、ご家族のための大切なお墓です。お墓じまいといっても、何から手をつけたらいいのか分からない人がほとんどだと思います。

そうかといって、何もせずに先伸ばししていると、時間が過ぎてしまいます。万一、当事者が亡くなれると、役所の手続きを含めてさらに複雑さが増して、余計な費用も掛かってしまいます。

臨南寺には、永代供養付きのがっしょう園マトリもございます。お元気なうちに、早めに寺務所にご相談ください。



お墓参りの際には休憩所をご活用ください

年々増してくる夏の暑さ。特に高齢の方には熱中症が心配です。夏場のお墓参りには、涼しい休憩所でひと休みされることをお勧めします。また、お一人でお墓参りせず、ご家族同伴でのお参りを心掛けてください。



涼しい休憩所でお休みください

コンサートのある午後は混雑します

八月二日・三日、九月十三日・十四日、十月四日・五日の土日はヤンマースタジアム長居でコンサートが開催されます。各日五万人規模のファンが殺到、午後二時過ぎから混雑が始まります。お墓参りは午前中にお済ませください。

車両が出入りする門は、通常は午後九時まで開いていますが、コンサートがある夜は午後七時に閉門させていただきます。ご了承ください。

編集後記

五月の第三週に淡路島に行ってきました。最初に向かったのが福良の港。「咸臨丸」に乗って、船から鳴門の渦潮を間近に見ました。幸運にも大潮の時期で大迫力に圧倒されました。民宿のおかみさんやタクシーの運転手さんなど人情の機微と海鮮の美味を堪能した旅でした。(M)

「ほ〜っと」75号

令和7年7月

編集・発行： 菱 伽 林

「ほ〜っと」編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://rinnanji.com